

## 宮田幸一先生の経歴と業績

### 〈経歴〉(西暦)

- 一九四九年 北海道室蘭市に生まれる
- 一九六七年 北海道立室蘭栄高等学校卒業
- 一九七四年 東京大学文学部哲学科卒業
- 一九七六年 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程修了
- 一九八一年 同博士課程満期退学
- 一九八三年 東洋哲学研究所研究員(一〇〇四年)
- 一九八四年 新潟短期大学専任講師
- 一九八八年 創価大学文学部人文学科助教授(一九九二年)
- 一九九二年 創価大学文学部人文学科教授(現在に至る)
- 二〇〇二年 アメリカ・ハーバード大学ライシャワー日本研究所客員研究員

## 著作目録

## ○著書（単著）

- 『牧口常三郎の宗教運動』第三文明社、一九九三年十二月  
 『牧口常三郎の世界ヴィジョン——『人生地理学』のメッセージ』第三文明社、一九九五年十一月  
 『牧口常三郎はカントを越えたか』第三文明社、一九九七年九月  
 『心の創造 心の価値——牧口常三郎が語る人間教育の智慧』三心堂出版社、一九九九年十一月  
 『牧口常三郎獄中の闘い——訊問調書と獄中書簡を読む』第三文明社、二〇〇〇年十一月

## ○著書（共著）

- 『カトリックと創価学会』南山宗教文化研究所編、第三文明社、一九九六年六月「創価学会の宗教的理念と宗教対話」

## ○論文（単著）

- 「超越論的相互主観性理論の可能性」哲学会『哲学雑誌』第九四巻第七六六号、一九七九年十月  
 「フッサールの固有名の意味について」日本哲学会『哲学』第三三三号、一九八三年五月  
 「フッサールの本質的に偶因的な表現について」新潟短期大学『社会科学論集』第二二二号、一九八五年三月  
 「価値命題の真理性」『東洋哲学研究所紀要』第一号、一九八五年十二月  
 「牧口真理論の研究」『東洋学術研究』第二五巻第二号、一九八六年十一月

- 「牧口常三郎の宗教研究法(1)」『東洋哲学研究所紀要』第二号、一九八六年十二月
- 「『創価教育体系』における善の概念」『東洋哲学研究所紀要』第三号、一九八七年十二月
- 「牧口常三郎全集」第九卷(後期教育学論集)「解題」第三文明社、一九八八年三月
- 「初期フッサールにおける“Vorstellung”概念の一考察」  
新潟短期大学『社会科学論集』第三号、一九八八年三月
- 「研究報告要旨 初期フッサールにおける“Vorstellung”概念の一考察」  
『現象学年報』第四号、一九八八年十一月
- 「フッサールの『記号の論理学』研究(1)」『創価大学人文論集』第一号、一九八九年三月
- 「フッサールの『記号の論理学』研究(2)」『創価大学人文論集』第二号、一九九〇年三月
- 「田中智学・三谷素啓・牧口常三郎」『フォーラム人文』第一号、一九九〇年七月
- 「フッサール言語論について」『創価大学創立二十周年記念論文集』、一九九〇年十一月
- 「フッサールの『記号の論理学』研究(3)」『創価大学人文論集』第三号、一九九一年三月
- 「パスカルのキリスト教弁証論の構造と諸問題」『東洋哲学研究所紀要』第七号、一九九一年十二月
- 「フッサールの『記号の論理学』研究(4)」『創価大学人文論集』第四号、一九九二年三月
- 「フッサールの『記号の論理学』研究(5)」『創価大学人文論集』第五号、一九九三年三月
- 「牧口常三郎論の試み(1)」『潮』七月号、一九九三年六月
- 「牧口常三郎論の試み(2)」『潮』八月号、一九九三年七月
- 「牧口常三郎論の試み(3)」『潮』九月号、一九九三年八月
- 「牧口常三郎の宗教」『東洋学術研究』第三二卷第二号、一九九三年九月

- 「教育革命から宗教革命へ」『第三文明』十二月号、一九九三年十一月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン1」『第三文明』七月号、一九九四年六月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン2」『第三文明』九月号、一九九四年八月
- 「牧口常三郎とその時代、上」『潮』九月号、一九九四年八月
- 「牧口常三郎とその時代、下」『潮』十月号、一九九四年九月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン3」『第三文明』十月号、一九九四年九月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン4」『第三文明』十一月号、一九九四年十月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン5」『第三文明』十二月号、一九九四年十一月
- 「宗教の価値科学的研究の可能性とその意義」『東洋学術研究』第三三卷第二号、平成一九九四年十一月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン6」『第三文明』二月号、一九九五年一月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン7」『第三文明』三月号、一九九五年二月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン8」『第三文明』四月号、一九九五年三月
- 「宗教言語の多様な使用について（1）」『創価大学人文論集』第七号、一九九五年三月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン9」『第三文明』五月号、一九九五年四月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン10」『第三文明』六月号、一九九五年五月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン11」『第三文明』七月号、一九九五年六月
- 「牧口常三郎の世界ヴィジョン12」『第三文明』八月号、一九九五年七月
- 「内村鑑三の日蓮論について」『東洋哲学研究所紀要』第一一号、一九九五年十二月
- 「ヴァイトゲンシュタイン『確実性について』の宗教観をめぐって」

- 『創価大学創立二十五周年記念論文集』、一九九五年十二月
- 「宗教言語の多様な使用について(2)」『創価大学人文論集』第八号、一九九六年三月
- 「牧口常三郎、戸田城聖と法華経」『東洋学術研究』第三二卷第二号、一九九九年十一月
- The Lotus Sutra and Tsunesaburo Makiguchi and Josei  
Toda『*The Journal of Oriental Studies* vol. 10, 二〇〇〇年七月
- Introduction of Ideas and Influence of Tsunesaburo Makiguchi'  
*The Journal of Oriental Studies* vol. 10 Special Issue, 二〇〇〇年十月
- Tsunesaburo Makiguchi's Theory of the State'  
*The Journal of Oriental Studies* vol. 10 Special Issue, 二〇〇〇年十月
- The Reception and Impact of the Lotus Sutra in Japan'  
*36th International Congress of Asian and North African Studies*, 二〇〇〇年八月
- 「日本における『法華経』の受容とその影響」『東洋学術研究』第三九卷第二号、二〇〇〇年十一月
- 「守護国家論」について(1)」『東洋哲学研究所紀要』第一六号、二〇〇〇年十二月
- On Wittgenstein's View of Religion in "Ueber Gewissheit" 『創価大学人文論集』第十三号、二〇〇一年三月
- 「創価学会の日本仏教史における位置」『東洋学術研究』第四〇卷第二号、二〇〇一年十二月
- The Acceptance and Impact of the Lotus Sutra in Japan'  
*The Journal of Oriental Studies* vol. 11, 二〇〇一年十二月
- 「『守護国家論』について(2)」『東洋哲学研究所紀要』第一七号、二〇〇一年一月
- 'On Husserl's Theory of Language' 『創価大学人文論集』第一四号、二〇〇二年三月

Critical Comments on Brian Victoria's "Engaged Buddhism: Skelton in the Closet?"

*Journal of Global Buddhism* vol. 3, 11001年六月

The Place of the Soka Gakkai in Buddhist History in Japan<sup>1</sup>

*The Journal of Oriental Studies* vol. 12, 11001年十二月

「ジャクリーン・ストーン『Original Enlightenment and the Transformation of Medieval Japanese Buddhism (本覚と中世日本仏教の変容)』について」『東洋哲学研究所紀要』第一八号、二〇〇二年十二月

The Possibility of Religion in a Pro-scientific Society—The mind-body problem challenged by neuroscience and replied by religion<sup>1</sup>『創価大学人文論集』第一五号、二〇〇三年三月

「宗教における原理主義と改革主義——牧口常三郎の挑戦」創価大学創価教育研究センター

『創価教育研究』第二号、二〇〇三年三月

「日本仏教と平和主義の諸問題」『創価大学人文論集』第一六号、二〇〇四年三月

「日有の教学思想の諸問題」『創価大学人文論集』第一七号、二〇〇五年三月

「日興の教学思想の諸問題 (1) 資料編」『創価大学人文論集』第一八号、二〇〇六年三月

「再び日蓮御影本尊を論ず」『法華仏教研究』第一一号、二〇一一年十一月

「本尊問答抄」について (上) 『法華仏教研究』第二二号、二〇一二年四月

「本尊問答抄」について (中) 『法華仏教研究』第一三号、二〇一二年八月

「本尊問答抄」について (下) 『法華仏教研究』第一四号、二〇一二年十二月

「日興教学思想の文献学的考察」『法華仏教研究』第一九号、二〇一四年八月

「学問的研究と教団の教義——創価学会の場合」

『宗教学研究』第八九卷別冊 第七四回學術大会紀要号、二〇一六年三月

○翻 訳

The Philosophy of Value (1) (Authored by Tsunesaburo Makiguchi, revised and supplemented by Josei Toda, originally translated by Translation Division Overseas Bureau Soka Gakkai, newly translated by Koichi Miyata)'

『創価大学人文論集』第二二号、二〇一〇年三月

The Philosophy of Value (2) (Authored by Tsunesaburo Makiguchi, revised and supplemented by Josei Toda, originally translated by Translation Division Overseas Bureau Soka Gakkai, newly translated by Koichi Miyata)'

『創価大学人文論集』第二二三号、二〇一一年三月

The Philosophy of Value (3) (Authored by Tsunesaburo Makiguchi, revised and supplemented by Josei Toda, originally translated by Translation Division Overseas Bureau Soka Gakkai, newly translated by Koichi Miyata)'

『創価大学人文論集』第二二四号、二〇一二年三月

The Philosophy of Value (4) (Authored by Tsunesaburo Makiguchi, revised and supplemented by Josei Toda, originally translated by Translation Division Overseas Bureau Soka Gakkai, newly translated by Koichi Miyata)'

『創価大学人文論集』第二二五号、二〇一二年三月

The Philosophy of Value (5) (Authored by Tsunesaburo Makiguchi, revised and supplemented by Josei Toda, originally translated by Translation Division Overseas Bureau Soka Gakkai, newly translated by Koichi Miyata)'

『創価大学人文論集』第二二六号、二〇一四年三月

The Philosophy of Value (6) (Authored by Tsunesaburo Makiguchi, revised and supplemented by Josei Toda,

originally translated by Translation Division Overseas Bureau Soka Gakkai, newly translated by Koichi Miyata)'

『創価大学人文論集』第二十七号、二〇一五年三月

The Philosophy of Value (7) (Authored by Tsunesaburo Makiguchi, revised and supplemented by Josei Toda, originally translated by Translation Division Overseas Bureau Soka Gakkai, newly translated by Koichi Miyata)'

『創価大学人文論集』第二十八号、二〇一六年三月

The Philosophy of Value (8) (Authored by Tsunesaburo Makiguchi, revised and supplemented by Josei Toda, originally translated by Translation Division Overseas Bureau Soka Gakkai, newly translated by Koichi Miyata)'

『創価大学人文論集』第二十九号、二〇一七年三月

○その他

『『創価学会秘史』——事実認識と歴史認識の誤解について』『第三文明』七月号、二〇一八年七月